



これからも、私たちらしく。
128だからできること。

慶應義塾128三田会卒業25年記念事業実行委員会



128三田会活動スケジュール

2011年9月17日(土)：卒業25年記念事業キックオフ同窓会@三田キャンパス
2012年3月18日(日)：卒業25年大同窓会@ホテルニューオータニ
2012年3月23日(金)：慶應義塾大学卒業式・塾員招待会@日吉キャンパス

128三田会事務局：128contact@128mitakai.jp

128三田会ホームページ(PC、携帯ともに)：<http://www.128mitakai.jp/>

※名簿登録はホームページ(PCおよび携帯)からお願いします。募金・イベントへの出欠連絡もホームページからが便利です。



慶應義塾128三田会
卒業25年記念事業のご案内
事業趣意書



これからも、私たちらしく。 128だからできること。

今、私たち128三田会にできること、それはきっと、慶應義塾の絆をつなぐこと。
思い出してみてください。25年前、ちょうど私たちと同じ立場の先輩方が、私たちの門出を祝ってくれたことを。
この日本経済激動の25年の中で、いい時代も悪い時代も知っている私たち128三田会だからこそ、
これまで日本が経験したことのない時代の中で、不安を抱えた後輩たちの道しるべになれるはず。
肩ひじを張る必要はないと思うのです。いままで自分たちなりに頑張ってきた足跡、そして、今も頑張り続けている
姿を見せてあげることが、一番のメッセージ。あらためて、「これからも、私たちらしく。」

ホームページより名簿登録のお願い!

同期の皆さま方の連絡先を整備しています

慶應義塾より郵送される卒業式招待状を同期全員に届けることを目標に、同期の方々の連絡先を整備しています。
しかし、残念ながらまだ連絡先不明の方が1,000名以上いらっしゃいます。まずは、ご自身で128三田会ホームページ <http://www.128mitakai.jp/> より名簿登録をお願いします。
(ホームページ以外からの登録はできません) 随時、同窓会やクラス会、128三田会ホームページなどで不明な方の状況をお知らせしてまいりますので、連絡先をご存知の方は情報の提供をよろしくお願ひします。

代理登録制度開始しました!

不明者ご本人が何らかの理由で登録ができない場合、皆さまが代わりに登録をしていただくことも可能です。不明者ご本人の了解を得た上で、左記同様にホームページからお願いします。登録後にご本人と代理登録者の両方に確認のメールが送られます。

128三田会ホームページ
PC、携帯ともに <http://www.128mitakai.jp/>



ご挨拶



「1987年(128年)
三田会の皆様へ」

慶應義塾長

清家 篤



これからも、私たちらしく。
128だからできること。

慶應義塾
128三田会卒業25年記念事業実行委員会
実行委員長

島田 新一

この度の東日本大震災による被害は未曾有のものであり、その実態がつまびらかになるにつれ、まことに胸の塞がれる思いです。その犠牲になられた方々には深い哀悼の意を表します。また今なお厳しい状態の中におられる被災者の方々に心からお見舞い申し上げます。

こうした状況のもとで、1987年(128年)三田会の皆さまは予定しておられたキックオフ同窓会をやむなく一旦延期とされました。しかしそうした日本を元気にするため一致協力のもとで卒業25年記念事業実行委員会を組織され、改めてキックオフ同窓会を設定され、大同窓会をはじめとした種々の記念事業を進めておられると伺っております。

このことは慶應義塾としてもたいへん嬉しいことと思っております。震災の影響を受けた塾生への支援を進めてくださることも、ありがたいことであります。今後進められる記念事業の成功をお祈り申し上げますとともに、この機会に会員相互の旧交を温められさらに交友の輪が広がっていくことを願って止みません。

25年前の3月23日、日吉の丘において卒業式を迎えられた皆さまの門出を、そのとき卒業25年となった先輩方が祝ってくださいました。そして来年2012年3月、今度は皆さまに新しい卒業生の門出を祝っていただくこととなります。どうかその卒業生たちを激励していただきたいと思います。

厳しい状況にある日本ですが、慶應義塾は日々の教育、研究、医療をしっかりとすすめていく所存です。このようなときこそ学問によって自分の頭で考えることのできる人を育て、学問によって新しい価値を生み出すような研究成果を世に出して、社会の進歩に貢献していくことこそが慶應義塾の責務だと考えているからです。

卒業25年目の年を迎えるにあたり、あらためて皆さまが未来に向けた希望を共有され、塾の取り組みにご参画いただくことを願っています。皆さまからの力強い応援を期待しています。来年の3月、日吉の丘でお会いできますことを心待ちにしているとともに、皆さまのご多幸ご健勝、そしてますますのご活躍をお祈り申し上げます。

この度の東日本大震災において被災された方々、企業様におかれましては心からお見舞い申し上げます。

今後復興に向けては長い時間と労力が掛かり、数多くの困難が待ち受けていることと思っておりますが、128三田会会員(1987年卒業者とそれにアイデンティティを感じる人たちが構成)においても一致団結し少しでも世の中の力になれるよう、皆さまとの絆を深め頑張っていきたいと思っております。

早いもので128三田会の会員は慶應義塾大学を卒業して来年3月、卒業25年を迎えます。慶應義塾には「塾員招待」という卒業25年時に卒業式にご招待を受け2012年(153年)三田会(平成24年卒業)となられる方たちの門出をお祝いするという、素晴らしい伝統行事があります。人生で二度目の卒業式を経験できる貴重な機会です

この二度目の卒業式に皆さまに一人でも多く出席していただき、慶應義塾の絆を通じて再び繋がりを築くことを目的とし、一昨年より卒業25年記念事業実行委員会を組織いたしました。

私たち128三田会は塾員招待を受けるにあたって、お世話になった慶應義塾への恩返し、そして私たちが25年ぶりに再会し旧交を深めることができる喜びの気持ちを込めて、記念事業を企画させていただきました。

この度の震災で被害を受けた塾生の方々が大きく立ち上がっています。その塾生が慶應義塾で学問を続けられるよう、128三田会として出来ることはないかを実行委員会及び慶應義塾と長時間にわたり話し合いました。その結果、皆さまから基金を募り塾へ寄付させていただき、震災で影響を受けた塾生の学生生活を援助させていただくことを記念事業にしようとなりました。

「独立自尊」の精神のもと、慶應義塾に入学した時から私たちは「社中協力」という本当の仲間の必要性を肌で感じてきました。その社中協力をまさに具現化するときです。

卒業25年という節目に、慶應義塾で学んだ仲間として、128三田会会員が一致団結し、この卒業25年記念事業を成功させましょう。

そして、皆さまの卒業25年記念事業への積極的なご参加をよろしくお願ひいたします。

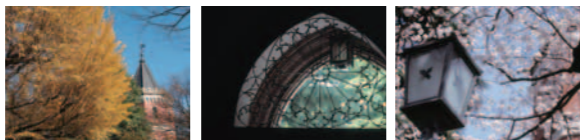




128三田会卒業25年事業概要

2012年3月23日(金)、128三田会は慶應義塾大学卒業式に招待されます。

慶應義塾では、卒業25年目の塾員をその年の大学の卒業式に招待する伝統があります。1953年(昭和28年)から続く塾の大切な伝統行事です。25年前の自分たちを思い出し、希望に満ちあふれる後輩を祝福、激励するためです。この日、私たち128三田会会員は慶應義塾より正式に招待をいただき、卒業式終了後の塾主催の塾員招待会にも参加します。この卒業25年の記念すべき日を中心に据え、128三田会は下記の3つの事業を展開します。



【1】2012年3月18日(日)、大同窓会を開催します。

私たち同期が一堂に会する大同窓会をホテルニューオータニで開催します。懐かしい笑顔とともに楽しいときを過ごそうではありませんか。例年1,200名を越える同期が集まっているようです。今後詳細は、ホームページなどでお知らせします。イベント盛りだくさん。ふるってご参加ください。

【2】卒業25年記念事業として募金活動を行います。

卒業式に招待された塾員は塾の原点である「社中協力」のもと慶應義塾への恩返しとして、代々記念の寄付を行ってまいりました。私たち128三田会は、具体的に「東日本大震災被災学生向け奨学金」を目的とした募金を行います。今回の寄付金は、招待をうける慶應義塾大学卒業式において、塾長に目録の形で贈呈されます。

現在たいへん厳しい経済情勢ではありますが、趣旨をご理解、ご賛同の上、募金活動へのご参加を賜りますよう心からお願い申し上げます。

※詳細は4頁をご確認ください。

【3】128三田会記念誌を発行します。

2回目の卒業アルバム、128三田会記念誌を発行します。卒業25年目の同窓会の思い出の写真、学生時代～卒業25年の今日までの歴史を振り返るコンテンツなどで構成され、2012年秋ごろ発行の予定です。

記念誌は非売品であり、寄付をしてくださった方に対してお配りするものです。

※詳細は5頁をご確認ください。

【2】募金活動へのご協力へのお願い～慶應義塾への寄付

●募金活動のお願い

募金、寄付という言葉は私たち塾員にとって耳馴染みのある言葉ですが、慶應義塾の募金の歴史は明治時代にまでさかのぼります。

慶應4年に慶應義塾と名を定めてから12年後、明治12年頃、福澤先生の資金力に頼っていた慶應義塾は財政難に陥ります。福澤先生も慶應義塾の廃止を覚悟されましたが、門下生達の熱い想いに押され、「全塾募金活動」に踏み切り、結果、予想を大きく上回る募金が集まり、存続の危機を脱することができました。これが、わが慶應義塾の募金の歴史のはじまりです。

その後も慶應義塾は、数々の困難を塾員の支えによって同様に乗り越え、「教育・研究・医療の先導者」としての地位を確立し、日本の発展に貢献してきました。慶應義塾が「未来への先導者」として有り続けるため、代々の諸先輩方は厳しい時代においても卒業25年の記念事業として募金活動を行ってきました。私たちが素晴らしい環境で学生時代を過ごせたのも、その恩恵を受けてのことと言っても過言ではないでしょう。そして128三田会も諸先輩方の意志を継ぎ、卒業25年を祝い、募金活動を行うことといたしました。

募金の目的ですが、慶應義塾とも慎重に協議を重ねた結果、単なる慶應義塾への寄付でなく「東日本大震災被災学生向け奨学金」への協賛を寄付の対象とすることにいたしました。128三田会はこの度の未曾有の大震災の発生を受け、不幸にも被災され、授業料の納付が困難になった学生を一人でも多く救済したいと考えます。

この卒業後25年という人生の節目に、再会した旧友と心をひとつに活動し、未来の日本を支える優秀な塾生が諦めかけた勉学を継続することができたら、とても喜ばしいことだと思います。

皆さまお一人お一人にこの趣旨をご理解いただき、より多くの方々の募金活動へのご協力を賜りたいと存じます。どうぞよろしくお祈り申し上げます。

●募金要領

■ 目的：東日本大震災被災学生向け奨学金

■ 目標金額：2,000万円以上

■ 募金単位：個人名義 一口10,000円
(できたら2口以上でお願いいたします)

※3口以上募金いただいた方には、128三田会オリジナル携帯ストラップを進呈いたします。

法人名義 一口50,000円

(できたら2口以上でお願いいたします)

■募金方法

①クレジットカードでの募金

今回、卒業25年記念事業の募金活動としては初めて、クレジットカードでの募金が可能となりました。クレジットカードの場合、ご利用いただいたクレジットカード会社のマイレージやポイントが付与されるほか、銀行窓口やATMの時間に関係なく、いつでもお手続きいただけます。

【ご利用いただけるクレジットカード】

VISA・MASTER・DC・NICOS・UFJ・MUFG (JCBおよびAMEXはご利用いただけません) ※お支払い回数は、1回払いのみとなります。

a)クレジットカードをご利用いただく場合は、次の128三田会ホームページの「募金活動へのご協力へのお願い」をクリックし、同ページに設置されている「クレジットカードでの募金」からお手続きください。
128三田会ホームページ <http://www.128mitakai.jp/> (PCおよび携帯)

b)手続きが完了すると募金受付完了メールが、ご登録いただいているメールアドレス宛てに送信されます。

②専用振込用紙を利用した金融機関でのお振込

a)同封の128三田会卒業25年記念事業用募金振込用紙をご利用の場合は、お振込いただく金額、日付、塾員番号(趣意書送付時の宛名の部分に記載の9桁の番号)、お名前、ご住所をご記入いただき、募金金額をお振込ください。
※塾員番号については、趣意書の6頁「卒業25年記念事業とは」Q&AのQ3をご参照ください。

b)振込手数料は各自にてご負担いただけますよう、お願い申し上げます。

③法人名義でのお振込

お振込の際は、名義と一緒に塾員番号をご記入ください。またお手数ですが128三田会事務局宛てに、塾員番号を明記の上、メールにてご連絡をお願いいたします。

④専用振込用紙を利用しない金融機関でのお振込

a)下記指定口座宛に、金融機関よりお振込ください。

【128三田会卒業25年記念事業用 口座】

振込先銀行：三菱東京UFJ銀行 本店 普通預金

口座番号：0853489

口座名：128三田会卒業25年募金口

b)お振込の際、お振込人氏名と一緒に塾員番号をご入力ください。

c)振込手数料は各自にてご負担いただけますよう、お願い申し上げます。

⑤法人名義でのお振込

お振込の際は、名義と一緒に塾員番号を入力ください。またお手数ですが128三田会事務局宛てに、塾員番号を明記の上、メールにてご連絡をお願いいたします。

■領収書ならびに所得税寄付金控除証明書の発行

お振込いただいた金額の領収書および所得税の寄付金控除証明書は、後日、慶應義塾より発行し、お礼状と一緒にお手元に送付されます。確定申告される際は、こちらをご利用ください。なお、ATM等からお振込いただいた場合は、払込票を大切に保管しておいてください。

※確実に書類をお送りさせていただくためにも、最新のご連絡先を128三田会ホームページ「名簿登録」にてご登録くださいますようお願い申し上げます。

128三田会ホームページ <http://www.128mitakai.jp/> (PCおよび携帯) 何らかの理由で「名簿登録」の連絡先とは異なる連絡先への送付等ご相談がある方は、128三田会事務局の方まで、お申し出ください。

■Web芳名帳への掲載について

募金活動にご協力いただいた方のお名前を、128三田会ホームページ上で用意する「Web芳名帳」に掲載させていただく予定です。掲載を希望されない方は、お手数ですがお振込と同時にメールにて128三田会事務局までお申し出くださいますよう、お願い申し上げます。

※メールに塾員番号、お名前、学部、クラスの情報を明記くださいますよう、お願い申し上げます。

■128三田会事務局 連絡先

ご不明な点、書類送付先のご相談、Web芳名帳に関するご連絡などは、こちらの128三田会事務局までお問い合わせ、ご連絡ください。
128三田会事務局：128contact@128mitakai.jp



[3] 128三田会記念誌発行と広告掲載のお願い

128三田会では、卒業25年記念事業の一環として記念誌を発行いたします。
卒業25年記念式典や大同窓会の様子を中心に、在学時代の思い出などをとりまぜたグラビアページ、広告ページなどで構成されます。
つきましては、本記念誌への広告掲載を個人・法人を問わず募集いたします。
その広告収入は、本記念誌の制作費用および128三田会の活動資金として充当させていただきます。
記念誌は非売品であり、寄付をしてくださった方にお配りするものです。

● 記念誌発行概要/広告スペースおよび掲載料金

名称	128三田会記念誌	広告申込	2012年3月末日	広告サイズ	天地×左右(ミリ)	色	価格(税別)
仕様	A4判 約200ページ(予定)	締切日	お申込みをいただいた後、	1ページ	297×210	カラー	300,000円
発行日	2012年秋(予定)		128三田会より請求書をお送り申	1ページ	297×210	モノクロ	250,000円
発行部数	約5,800部(予定)		上げます。	1/2ページ	129×184	カラー	180,000円
配布先	広告掲載者(個人・法人)、募金に	振込先銀行		1/2ページ	129×184	モノクロ	150,000円
	ご協力いただいた方、慶應義塾お		三菱東京UFJ銀行 本店 普通預金	1/4ページ	129×88	カラー	100,000円
	よび関連諸団体		口座番号0853523	1/4ページ	129×88	モノクロ	80,000円
	(販売はいたしません)	口座名	128三田会卒業25年記念誌口	1/8ページ	60×88	カラー	60,000円
				1/8ページ	60×88	モノクロ	50,000円

※広告制作料金は含まれません。

● 128三田会としての個人情報取り扱いについて

名簿取り扱いについて: ご提供いただいた名簿の情報は、128三田会の連絡に使用させていただきます。128三田会の個人情報保護規定は、ホームページ(<http://128mitakai.jp/register/kitei.pdf>) からご覧ください。また、慶應義塾大学へのデータ提供をご許可いただいた方の情報は、慶應義塾大学塾員センターに提供させていただきます。

写真について: 慶應義塾128三田会卒業25年記念事業実行委員会が開催する催事においては、記念誌、ホームページに掲載することを目的として、皆さまの様子を撮影することがございます。予めご了承ください。なお、当日は腕章をつけたカメラマンが写真撮影を行いますので、写真撮影に不都合がございました場合は、撮影の際にその旨をカメラマンにご指摘くださいますようお願い申し上げます。128三田会事務局 128contact@128mitakai.jp

✂ 卒業25年記念事業とは? ✂

- Q 1. 「128三田会」はどのような会で、メンバーは誰ですか?**
A 128三田会の「128」とは慶應義塾創立以来128回目の卒業生という意味で、1987年(昭和62年)に慶應義塾大学を卒業した約6,200名が自動的に入会しており、他大学の同窓会に相当します。
- Q 2. 「この会に友達は多いものの、自分は卒業年が違うのですが・・・」**
A 1987年(昭和62年)に卒業した塾員がメンバーであると申し上げましたが、さまざまな理由で卒業年が違ったり、あるいは諸般の事情で慶應義塾には入ったが卒業が他の学校だった、ということに拘わらず、「私たちは仲間だよ!」と実感できる同士が集う会こそが、128三田会の定義だと思っています。128三田会にアイデンティティを感じている人は、是非ホームページからご登録ください。
- Q 3. 塾員番号ってなんですか?**
A 皆さんは学生時代、試験や書類申請のたびに書いた学籍番号を憶えていますか? その学籍番号の頭に「1」がついたもの(通信教育課程の方は「3」)が、卒業後使われている塾員番号です。128三田会では、塾員番号を皆さまのユニークコードとして掌握しデータ管理に活用していきたいと思っています。この事業趣意書の宛名の紙に印字されている9桁の数字が、あなたの塾員番号です。どうぞご自分の塾員番号を控えておいてください。
- Q 4. どうして卒業25年目に卒業式(来年3月23日(金))に招待されるのですか?**
A 慶應義塾大学を卒業し25年目の塾員を卒業式典にご招待いただくのは、1953年(昭和28年)から続く慶應義塾の伝統行事です。社会人として充実した時期を迎えるこの卒業25年目の塾員が、若かりし頃の自分たちを追想し初心に帰るとともに、希望に満ちあふれて社会にはばたく後輩たちを祝福し激励するために、卒業式に参列します。ちなみに卒業50年目では入学式に招待されます。
- Q 5. 卒業式に招待された128三田会は何をするのですか?**
A 卒業式では例年、日吉記念館2階正面に「卒業25年を迎えた塾員席」が用意されます。私たち128三田会の代表が卒業生への「祝辞」を述べるとともに慶應義塾へ「寄付目録」を贈呈します。引き続き行われる卒業生の「年度三田会結成式」では、新たな塾員を迎える歓迎の意を表します。式典終了後、塾主催の招待会(懇親会)にも出席します。
- Q 6. なぜ卒業25年記念事業で募金を行うのですか?**
A 卒業式に招待されたお礼の気持ちを込めて、慶應義塾の原点である「社中協力」のもと慶應義塾へ恩返しを行うためです。128三田会は具体的に今回の震災をうけた慶應義塾大学の在学学生を支援する、「東日本大震災被災学生向け奨学金」の基金として募金活動を行います。
- Q 7. ホームページで名簿登録をしたかどうか忘れてしまったのですが。**
A PCからでも携帯からでも名簿登録はできます。何か項目を入力し忘れたような気がする、あるいはアドレスが変わった、などというときは何度でも登録してください。書きこまれた最新のデータがあなたのデータとして保存されます。
- Q 8. 今回の卒業25年記念事業実行委員会とは?**
A 10年ごとに当番年となる連合三田会で最初の当番年だった1997年、2回目の当番年2007年大会でお手伝いいただいた在京同期を中心に、準備をすすめてまいりました。慶應義塾と連携しながら2010年より実行委員会を組織化し、運営しています。2010年8月21日には三田キャンパスにて同窓会、来たる2011年9月17日三田キャンパスにてキックオフ同窓会を行い、少しずつ輪を拡げようとしています。皆さまのご協力、ご参加、よろしくお願いいたします。
- Q 9. 実行委員会、事務局に連絡したいのですが。**
A 活動はすべて実行委員がボランティアで行っています。本業や家庭への影響を考慮し、基本的にEメールをお使いください。アドレスは128contact@128mitakai.jpです。いただきましたメールには担当委員より折り返しご連絡させていただきます。

